

研究発表・ワークショップに登壇される皆さんへ
(投影機器利用に関するお知らせ)

- (1) 研究発表会場およびワークショップ会場では、パソコンを利用してプロジェクタから投影する形式での発表は可能ですが、パソコンは各自で用意してください。会場校ではパソコン本体の貸し出しはできません。また、レーザーポインタは用意しておりませんので、必要な方は各自でご持参願います。
- (2) 一般的な接続ケーブル(D-sub15ピン)は会場校で用意しますが、プロジェクタ接続ケーブルに直接接続できないパソコン(特にアップル製のノートパソコン等)をお使いの場合は、本体とプロジェクタをつなぐ変換接続ケーブルを各自でご持参下さい。なお、ご使用になるアップル製のノートパソコンから会場設備の D-sub 15 ピンに接続できるような付属ケーブル(通常は購入時に付属しています)をお持ちの方は、ご自身でご持参下さい。
- (3) 事前に会場設備の接続テスト(ノートPCとプロジェクタの接続確認など)を希望される方は、9月18日までに事務局にご連絡いただければ、担当者(成蹊大学・森雄一先生)から、テスト可能な時間帯をお知らせします。発表直前に不具合が生じた場合は対応できないことがありますので、ご承知おき願います。
- (4) プロジェクタの解像度は、XGA(1024×768)対応となっております。これに対応した解像度ではない場合(特にワイドスクリーンのノートパソコン等の場合)、文字が切れてしまったり縦長になったりすることがありますのでご注意ください。
- (5) パソコンからの音声の出力、DVD、CDIは、いずれも研究発表に予定している全教室で対応しております。その他の機器、OHP、OHC(教材提示装置)、DVD、音声ライン出力等の使用の希望がございましたらお早めにご連絡下さい。(対応できない場合もございますので、ご了承下さい。)
- (6) 当学会では1つのセッションは2件の発表からなります。PCを変更する時間を節約するため、発表者2名の方で使用するPCを決めてファイルを集めるなどのご協力をお願いします。